



発行 鳥取県議会議員 尾崎かおる

住所：鳥取県鳥取市吉成42-58

TEL・FAX：(0857) 22-2600

E-mail：ozaki.office311@gmail.com

HP：https://kengi.ozakikaoru.com/



県政へのご意見、要望を
ぜひお寄せ下さい。

令和6年2月 鳥取県議会 一般質問



1. 防災について～能登半島地震を受けて～

① 複合災害への対応

志賀原発が運転停止中であり重大事故にならなかったが、
1. 外部電源喪失、油漏れ、配管の亀裂 2. モニタリングポスト
18か所の放射線測定不能
これを受け原子力規制委員会は、対策指針を見直す検討を始めた。

問 島根原発の再稼働は政府の検討後、中国電力と協議し、安全の確保が図られるまで再稼働には同意しないという姿勢と理解して良いか。

知事 令和3年の原子力規制委員会の会議で県の避難計画は了承されたが能登半島地震を受け、国も見直しの検討を始めている。
我々も総括していくが、県としては今の計画でも良いか国にも聞き、中国電力とも話をしていく。再稼働は安全確保が前提である。

2. 鳥取駅周辺 再整備について

鳥取市は、人が集い、交流し、魅力あふれる街「鳥取OACIS」の創造を基本理念とし、“次の50年へ。未来創造ステーション”の視点もち鳥取駅周辺の再整備を検討。「鳥取駅周辺リ・デザイン会議」で議論されている。

問 この再整備に県はどう関わっていくか。
また、複合施設をつくりその中に美術館機能、音楽ホール等文化施設の整備も検討している。もし、美術館機能ができれば今まで言われていた通りしっかり支援してほしい。

知事 駅周辺の再整備は今までにない発想である。南北広場を改札口から直接繋いでいる。また、交通広場もある。美術館機能が出来るのであれば応分の支援を誠実にやっていく。

② 先人に学ぶ防災

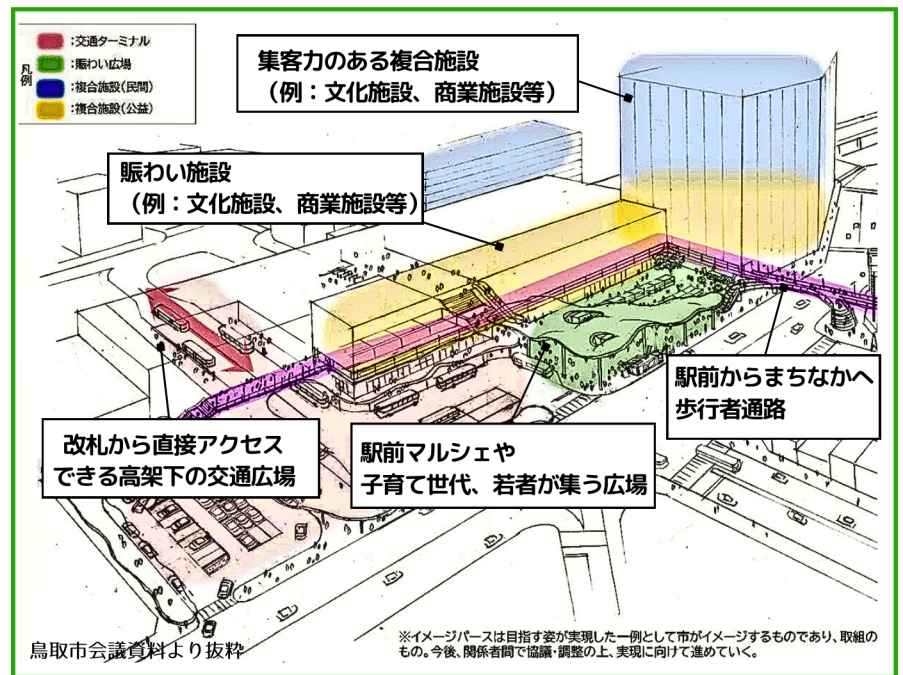
全国の聞き取り調査をしていた民俗学者 宮本常一は、気高郡瑞穂村土居の中原政太郎について記している。
中原は住民を水害から守る工事を率い、また「貯金会」をつくり困った人に無利子で貸し付け、土木工事で入ったお金で各戸に牛や羊を配ったり、「にぎり貯金」による各戸の台所改善など多方面で村の発展に大きく貢献した。

問 防災を軸に村を発展させた中原について地元の子どもたちばかりでなく広く県民に知ってもらふ必要がある。

教育長 先人に学ぶ意義は大きい。
もっと資料がないか研究をしてみる。

問 日野ボランティア・ネットワークのボランティア実践活動記録のような聞き取り記録は今後の指標になり、大変役立つ。昨年8月の台風7号で被災した人への聞き取りをした災害記録を作成してはどうか。

知事 すでに聞き取りはしているので、参考になるようなものを考えたい。



予定の2倍以上の参加者！
関心の高さが伺えました

2月25日(日) 「こどもを守る・みんなを守る これからの性教育」開催

主催：鳥取県男女共同参画をすすめるネットワーク 於：新日本海新聞社中部本社ホール(倉吉市)

- ◆ 講演 浅井春夫立教大名誉教授 「包括的性教育」について
- ◆ 実践報告 地域で性教育のお話会 黒坂美紗子さん
岩美高での生命(いのち)の安全教育 高橋唯先生

「日本は何周も世界から遅れている」と言われる性教育。今、文科省は「生命(いのち)の安全教育」として人権の視点も入れた教育を始めています。

包括的性教育は単に体のことを学ぶというだけでなく、性と生殖と健康に関する知識を得て、自分・相手の人権を大切に、選択の連続である人生において自分の人生を選んでいく力をつけることである。今こそ、自立と共生のために包括的性教育は求められている。

<参加者から>

- ・このような学びの場を継続的に行ってほしい
- ・親、地域も学ぶ必要がある
- ・先生が学ぶ機会、性教育を受けなかった世代への研修も必要 など



12月16日(土)

鳥取県医療的ケア児等家族会「おはなしかい」

医療的ケア児と家族、医療関係者、行政、支援者などが参加し、グループに分かれて日頃の思いをざっくばらんにお話をしました。博愛こども発達・在宅支援クリニックの玉崎院長のコーディネートもあり、素晴らしい進行で皆思いを出し合えました。



療育センターは親も一緒に行かなくてはならないから親の休息にはならない、器具などの最新の情報が欲しい、デイケア施設がもっと欲しい、などなど今後の取り組みに大いに生かれます。

悩みや解決法を分かち合い、こんな会がもっとあれば良いと皆の思いが一致。頻繁に会い、支援する側もされる側もより深く課題を知り、共に進む事が必要と感じました。



12月19日(火)

平和活動

立憲民主党議員と連合鳥取のメンバーで「イスラエル・ガザに平和を！」と訴える街頭活動をしました。



「日本政府こそ、双方に平和と恒久平和を求めうる立場にある。みなさんも関心をもって共にできることをしていきましょう。」と訴えました。

11月12日(日)

23年6,9月議会報告会

(浜坂公民館、修立地区公民館)

子育て応援駐車場、サイクリングロードについて、男性の性暴力、特別支援学級の問題やベトナム視察について報告しました。



2月29日(木)

眠れていますかキャンペーン

午前7時15分から1時間、鳥取駅前を実施しました。眠れなくなると鬱になりがちです。そんな状況ではないか、またその時どうするかなど書かれたパンフレットを行き交う人たちに配りました。



「自死防止活動の一環として」

2月19日(月)

鳥取市男女共同参画登録団体連絡会と市長との懇談会

3つのグループに分かれ、市長と直接意見交換。私のグループのテーマは「だれもが働きやすい環境づくり」社会資源を使い子育てしやすくすることを話し合いました。

- ファミリーサポートの広域化
- おばあちゃん育休が必要
- 異動は育休復帰後3年間、育児と両立がしやすい配属に配慮など意見がだされた。



10月24日(火)～27日(金)

ベトナム視察



◀ ファミリーマート

冷凍庫の普及が見込まれ、冷凍食品は今後伸びる。

ファミリーマートの冷凍コーナーには日本の「しめさば」もありました。

観光について ▶

チャーター便の可能性を探り、ベトナムからのインバウンドや客層などについて意見交換しました。



◀ 人材育成・派遣会社

日本へ人材を送り出すため日本語、文化の研修を半年間している会社と意見交換。



令和6年度当初予算案の概要

総額3,605億円

< 災害に強いふるさとづくり 170億円 >

- ・能登半島地震を踏まえた緊急対策 約19億円
- ・台風第7号災害からの復興 約50億円 等

< 安心して住める支え愛ふるさとづくり 151億円 >

- ・地域バス交通等整備支援事業 約3億2千万円
- ・空き家除却等支援事業 約5千万円 等

< 一人ひとりが輝くふるさとづくり 152億円 >

- ・若者世代が活躍する地域社会の実現 約10億円
- ・こどもの医療費完全無償化事業 約12億円
- ・保育人材確保強化事業 約3千5百万円
- ・不妊治療拡大支援事業 約7千万円
- ・産後ケア無償化事業 約6百万円
- ・ねりんピック開催事業 約18億円 等

< 産業と交流で活力あるふるさとづくり 164億円 >

- ・インバウンド観光推進事業 約5億5千万円
- ・運送事業者の安定・基盤整備事業 約9千5百万円
- ・産地・担い手強化支援事業 約2億4千万円 等